

学校名 [館中学校]

[中] 学校 [1・2・3] 年版 単元名 [地域の一員として] P50～51

教科・領域名 [学級活動] [50分]

主な学習活動 (実際に行った活動)

指導の実際

【ねらい】

- ・地域住民が互いに協力し「自分たちの地域は自分たちで守る“共助”」が重要なることを理解させる。
- ・中学生も地域の一員として大きな力となることが期待されていることを踏まえ、自分たちのできることを考えさせ、共助の意識高揚を図る。
- ・翌日の「地域防災訓練」に臨む心構えをもたせる。

- 1 「共助」について知る。
- 2 大震災の際、自分のまわりでどのような助け合いがあったかを振り返る。

3. 11直後、館地区では、どんなことで助け合いましたか。(どんな助け合いを憶えていますか)

- ・水くみや炊き出しの手伝い。
- ・避難者の誘導、避難所での物資配給の手伝い。

- 3 自分たちでもできそうなことについて考える。

地域〔町内会〕の中で、中学生でもできることには、どんなことがあると思いますか。

- ・携帯やスマートフォンで知った情報をみんなに知らせる。
- ・初期消火を手伝う。
- ・近所の要救助者を知らせる。
- ・避難所まで誘導する。

- 4 災害時要支援者について知る。

災害時要支援者とはどのような人のことか知っていますか。自分の家の近所に、災害時要支援者がどこに住んでいるのか知っていますか。

- ・高齢者 ・妊婦 ・乳幼児 ・難病患者
- ・外国人〔日本語不十分〕 ・障害者

- 5 翌日の「地域防災訓練」に臨む心構えを考える。

- ・地域の一員としての心構えを考える。

<留意点等>

*震災当時の地域のような写真、手伝いのような写真、当時の生徒作文(全校生徒記入)などを用意し、振り返る手立てとする。

*現1～3年生は、震災当時小学4～6年生。「自助」の意識はあるものの「共助」についての意識は高くない。

*震災当時の地域の中学生や高校生(卒業生)がどのような活躍をしたかに目を向けさせる。

*P50を参考に、「地域防災」や「自助・共助・公助」について知らせる。

*震災当時、他地域を含め、実際にあった中学生の活躍を知らせる。

活動するために大切なことを話し合わせる。

◇生徒の感想文から◇(地域防災訓練後)

地域防災訓練に参加して思ったことは、みんなの絆の大切さを知りました。3.11のような大きな災害が起きたら、みんなで協力して助け合うことが大切です。私は、消防署の方に心臓マッサージなどのやり方を教わりとてもためになりました。これからも、友達や地域の方と仲良くしながら、みんなの役に立つような人になりたいと思いました。

(1年女子)

*ワークシートに記入し、発表する。